

土佐教育研究会

土 佐

No.149 2021.6

(ホームページ掲載)



ごあいさつ

土佐教育研究会
会長 藤田 由紀子

令和3年6月5日(土)に開催されました第50回定期大会において、昨年度に引き続き会長を務めさせていただくこととなりました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、本年度の定期大会は、オンラインと書面決議を併用して行いました。土佐研としては初のオンライン会議でしたが、無事大会を成立させることができました。

高知県全域の小中学校教員が集う土佐研にとって、オンラインを活用することは会の存続と充実に欠かせないと考えております。これからの時代に対応できるよう、順次環境を整えていくことを計画しています。

また、今年は土佐研創立50周年という記念すべき節目の年です。「土佐教育研究会 第12回土佐教育研究大会・土佐教育研究会創立50周年記念講演会」を8月16日高知会館にて開催するよう計画しています。本来なら、諸先輩方や関係機関の方々にご臨席賜り、盛大な式典を開催したいところですが、コロナ禍の中皆様の安全と安心を考え、最大限できる範囲での研究大会のみとしました。ただ、状況によっては研究大会もオンラインや紙面での開催となることも考えられます。柔軟に対応していきたいと思っておりますので、ご理解ご協力のほどお願いいたします。

さて学校現場でも、今だ収束しない新型コロナ感染状況に対する対応が続いています。昨年度はいくつもの研究発表会が中止や延期を余儀なくされました。しかし、どのような状況であっても、未来を生きる子どもたちを育む本会の共通テーマ「主体的・創造的な教育を求めて」のもと積み重ねられてきた実践研究の価値が変わるわけではありません。むしろ、感染状況が収束した時に、コロナ禍であっても積み上げてきた教育実践の価値が問われるように思います。

50年の節目に新たな土佐研の在り方を会員の皆様とともに歩みながら、高知の教育を現場から支える「土佐研」の充実と進歩に寄与していきたいと考えております。

1年間どうかよろしくお願いいたします。

令和2年度 活動経過報告

土佐教育研究会は1972年の発足以来、21世紀に生きる子どもたちの成長と幸福を願うことを基本方針に、高知県レベルで唯一の民間教育団体として主体的・創造的な教育の推進を図ってきた。また、5支部・19専門部会が相互に連携をとり、さらなる組織の活性化をめざして、県や中四国・全国レベルの研究会や研究大会の開催を担っている。土佐研は、世代交代が進む中で、若手教員が継続的に自己研鑽できる研究の場である。令和2年度は、コロナ禍において思うような活動はできなかったが、支部、専門部ごとに様々な工夫を行いながら研究を進めてきた。

1 研究活動

昨年度は、コロナ感染防止対策の見地から多くの研究大会が中止となった。その中でも、国語教育研究大会(10月、伊野町枝川小学校)、算数・数学教育研究大会(10月高岡第一小学校)、道徳教育研究大会(10月、岡豊小学校・一宮中学校)、小規模・複式校研究大会(12月、浦戸小学校)を開催し、提案授業や研究発表を基にした研究協議、講師による講演等を通して、新学習指導要領の実施を踏まえた授業改善へと一歩前進することができた。

また、研究大会は中止となったが、それに向けての授業研究、紀要の作成が行われた専門部会、オンライン研修を実施した専門部会もあり、困難な中でも実践研究が行われてきたことは、今後の研究推進の在り方を示すものになったと考える。

2 組織の拡充

現在の会員数は1047名(令和3年3月31日現在)であり、前年度より123名減となった。昨年度、これまで連絡がつかないまま会員として登録されていた退職教員の数を精査したことによって会員数が減ったこと。さらに、県内の学校で統廃合が進む中、教員数そのものが減少していることも原因として考えられる。

しかし、学校や地域によっては、会員数が増えている。多忙な学校現場ではあるが、自分自身の課題意識に基づいた自主的な研修の重要性や高知県の教科等の研究を支えている土佐研の研究実績を広く広報するとともに、今後もオンライン研修の実施等、時代に合った研究団体となるよう柔軟な組織改善を図っていくことで組織拡大に努める。

3 広報活動

会報「土佐」No.147・148をホームページに掲載した。また、研究会等で土佐研加入の案内を行った。今後も、加入案内や会報、ホームページ等において、県下の教職員に広くアピールしていく。

4 財源の確立

本年度の補助金については、高知県から昨年度と同額の100万円の交付があった。また、教育公務員弘済会から助成金23万円、さらに文教協会から寄付金4万円をいただいている。現在も財源的に大変厳しい状況である。自主的な財源の確保に努めたい。

5 組織内の協調と関係諸団体との連携

本年度から、本会の研究大会及び研修会に高知県教育センターの後援を得、教育センターからの申し込みが可能となったことから、実施研究会の参加者数に増加傾向がみられた。今後も、本会の取り組みの充実を図るために、高知県教育委員会をはじめ関係諸団体と連携した取り組みをとっていきたい。

令和2年度事業実績報告

	事業名	実施時期	場所	講師職氏名	参加人数
国語	第61回高知県国語教育研究大会	令和2年10月30日	いの町立枝川小学校	白石範孝(明星大学教授)	160
書写	高知県書写教育研究授業	中止			
社会	第53回全国中学校社会科教育研究大会高知大会	中止(紀要作成)			
算・数	高知県算数・数学教育研究大会	令和2年10月30日	小学校(高岡第一小) 中学校(土佐南中)	服部裕一郎(高知大学)	160
音楽	第46回高知県音楽教育研究会・音楽研修会	令和3年3月27日	一宮中学校	河合神和(文部科学省教科調査官)	35
造形	第55回美術教育総合展	中止			
小 家	家庭科教材レシピ集(冊子)の作成・製本	令和2年度			
保 体	第61回高知県小学校体育連盟夏季共励会	令和2年8月6日	十津小学校	安江美保 (ノートルダム清心女子大学准教授)	50
	第34回高知県小学校体育研究大会	令和2年12月1日	南国市立十市小学校	宇賀孝司 (南国市立日章小学校教頭)	30
外 国	高知県英語教育研究大会	中止			
道 徳	第54回高知県道徳教育研究大会	令和2年10月30日	岡豊小学校 一宮中学校	七条正興(高松大学教授) 飯塚秀彦(文部科学省教科調査官)	250
特 活	特別活動希望の会オンラインミーティングfrom四国(zoom)	令和2年10月25日	zoom会議	杉田洋(國學院大学教授) 安部恭子(文部科学省教科調査官)	150
図 書 館	「学校図書館担当になって～基礎編～」 (仮題)の冊子作成	令和2年度			
小 規 模 複 式	高知県小規模・複式教育研究大会	令和2年12月2日	浦戸小学校	是永かな子(高知大学)	140

令和3年度 活動方針

共通テーマ「主体的・創造的な教育を求めて」

1 活動方針

日本国憲法と教育基本法に立脚し、民間教育団体として、研究の自由を堅持し、教員の資質・指導力の向上を図り、本県教育課題の解決に寄与する。

- (1) 子どもたちの成長と幸福を希求し、主体的・創造的な教育を目指した研究を推進する。
- (2) 専門部会の全県的な組織拡充並びに支部組織の確立を図り、自主的・計画的な研究活動を進める。

2 重点目標

- (1) 現場教員の願いをかなえる研究組織の確立を図る。
- (2) 全県を網羅する研究組織の拡大を図る。
- (3) 児童・生徒の確かな学力定着のために研究活動の充実を図る。
- (4) 新学習指導要領の趣旨に則った取り組みを進める。

3 実践への方策

- (1) 各部会の特性を生かした創造的・自主的な研究活動を推進する。
- (2) 各支部単位の研究体制確立に努める。昨年度から、各支部の研究大会を輪番で県大会とかねて実施している。本年度は東部支部の研究大会が県大会を兼ねる。
- (3) 各支部や専門部会の研究活動を交流し合うとともに、全国的な動向を研修する機会を設ける。
- (4) 部会の開催を全県的に行い、地域に根ざした研究の充実を図るとともに、若手教員の育成に努める。そのために、高知県教育委員会をはじめとする関係機関との連携に努める。
- (5) ホームページ等による効果的な方法で、本大会の取組や、研究成果を発信する。
- (6) 本会の趣旨に賛同する者の加入を積極的に図るとともに、研究の拡充により教員の資質・指導力の向上に努める。
 - ① 本年度の会員数目標を1,100名以上とし、各部会及び支部、個々の会員等が会員拡大に努める。
 - ・ 新規採用教員をはじめとする若年会員の獲得
 - ・ 研究大会、研修会での専門部役員による勧誘
 - ・ 職場での会員による未加入者への勧誘
 - ② 関連団体への組織的な働きかけの継続
 - ・ 土佐研ホームページによる啓発 (<http://www.kochinet.ed.jp/tosa-k/>)
 - ・ 校長会、教頭会等で管理職への勧誘
 - ・ 県教委、地教委等と連携しての勧誘
- (7) 会員増による会費収入の増額に努めるとともに、関係機関からの補助金及び研究助成金の交付を働きかける。

令和3年度事業計画書

補助事業者名		土佐教育研究会			
事業名		実施時期	場所	講師職氏名	参加者数
国語	第52回夏期国語教育学習会	令和3年7月26日・27日	高知会館		100
	第30回四国国語教育研究大会(高知大会) 第62回高知県国語教育研究大会	令和3年11月19日	高知市立旭東小学校	宮西達也氏(作曲家)	150
書写	第23回四国書写教育研究大会 第61回高知県書写教育研究大会	令和3年11月	高知市立大津小学校 (予定)		80
社会	第17回社会科セミナー	令和3年7月28日	高知市立昭和小学校	由井 薫健氏(早稲田大学 総合科学学術院 教授)	100
	第43回四国社会科教育研究大会高知大会	令和3年10月15日	高知市立昭和小学校	小林宏己氏(筑波大学附属小学校 教諭)	100
	高知県社会科教育研究大会(中学校)	令和3年11月19日			
算・数	令和3年度高知県算数数学教育研究大会	令和4年1月	香南市立香我美小学校 香南市立香我美中学校		160
理科	小中学校理科臨地学習会	令和3年8月			20
	理科セミナー	令和3年7月	高知大学附属小学校		30
	小学校夏期学習会	令和3年8月			30
	中学校夏期学習会	令和3年8月	オーテピア		30
	第68回高知県理科研究大会高知大会(小学校)	令和3年11月	高知市立高須小学校		40
	第68回高知県理科研究大会高知大会(中学校)	令和3年11月	オーテピア		50
	生・総	高知県生活科・総合的な学習教育研究大会	令和3年秋	高知大学附属小学校	
音楽	中・四国音楽教育研究大会	令和3年11月26日			
造形	第60回高知県造形教育研究大会	令和3年12月			
	表現・図画工作・美術科実技講習会 専門研究デッサン	令和3年8月			
	第60回表現・図画工作・美術科実技講習会 教材研究版画	令和3年8月	高知大学附属小学校		15
小家	先生のための家庭科教室	令和3年7月～8月	高知大学附属小学校		20
技家	幡多・四万十地区技術・家庭科夏期研修会	令和3年8月			
	「豊かな生活を創るアイデアバッグ」コンクール高知県大会	令和3年10月			
	全国中学生創造ものづくり教育フェア2021県予選	令和3年11月			
	あなたのためのお弁当コンクール	令和3年11月			
	第19回高知県中学生からくりロボットコンテスト	令和3年11月			
	第59回高知県技術・家庭科研究大会	令和3年12月			
保体	第62回高知県小学校体育連盟夏季共励会	令和3年8月	土長・南国支部		50
	第59回中・四国小学校体育研究大会	令和3年10月29日	十津小学校	成田十次郎氏(パラリンピックメダリスト)	500
	第59回高知県学校体育保健研究大会	令和3年11月	安芸支部		100
外国語	高知県英語教育研究大会	令和3年12月	高知県教育センター	Kevin Churchley 氏	80
	高知県中学校英語弁論大会	令和3年11月	高知県教育センター(決勝大会)		70
道徳	第27回四国小・中学校道徳教育研究大会(高知大会) 第55回高知県道徳教育研究大会	令和3年11月1日・2日	南国市サタンシティーホテル 南国市立岡豊小・北陵中	飯塚秀彦氏(文部科学省調査官) 七條正典氏(高松大学教授)	250
特活	高知県特別活動研究大会	令和3年11月			
図書館	高知県学校図書館教育研究大会高知大会	令和3年11月			
視聴覚	夏季特別研修会	令和3年8月	高知市		50
	高知県放送・視聴覚教育研究大会	令和3年10月	高知市	中川一史氏	100
進路	第55回高知県進路指導研究大会	令和3年11月			
小規模複式	高知県小規模・複式教育夏季研修会	令和3年8月			
	高知県小規模・複式教育研究大会	令和3年12月			
環境教育	まるごと五台山in牧野	令和3年10月23日	牧野植物園		60

事業内容 本会は職能団体であって、教育に関する研究会・講演の開催、研究・調査・成果の刊行及び会報の発行(ホームページ掲載)等を行っている。

令和3年度 土佐教育研究会東部支部活動計画

1 支部の組織構成（令和3年度役員名簿）

役職	氏名	勤務校	役職	氏名	勤務校
支部長	大井 厚志	舟入小学校	事務局	幾井 良仁	田野小学校
研究部長	浜地 洋一	片地小学校	研究副部長	吉良 和夫	伊尾木小学校
事業部長	井手 泉	羽根小学校	事業副部長	中島 佳史	大宮小学校
組織部長	門田 満穂	川北小学校	組織副部長	大谷 晃弘	野市東小学校
広報部長	小松 良浩	室戸小学校	広報副部長	山岡 大二	野市小学校
会計部長	森田 卓志	大宮小学校	会計副部長	白石 ゆり	大橋小学校

2 支部の活動

(1) 東部支部役員会

- 第1回 令和3年6月12日（土） 9:30～11:00 （香美市立舟入小学校）
 第2回 令和4年1月29日（土） 9:30～11:00 （香美市立舟入小学校）

(2) 東部支部総会

- ①期 日 令和3年7月 3日（土） 10:00～12:00
 ②場 所 （香美市立舟入小学校）
 ③内 容
 ○ 報 告 ・土佐研定期大会の報告
 ○ 議 事 ・令和2年度 東部支部活動報告、決算報告
 ・令和3年度 東部支部活動計画（案）、予算（案）
 ・令和3年度 東部支部役員について
 ・東部支部教育研究会に向けて

(3) 東部支部教育研究会

- ①期 日 令和3年12月11日（土） 13:30～16:30
 ②場 所 香南市立野市小学校 地域連携室
 ③内 容
 ◇ 実践発表
 （安芸市立川北小学校）
 （安芸市立清水ヶ丘中学校）
 ◇ 研 修 ※オンライン（リモート）講演
 演題：『GIGAスクール構想におけるタブレット端末活用のポイント（仮）』
 講師：放送大学教養学部教養学科情報コース 教授 中川 一史 氏

令和3年8月16日（月） 第12回土佐教育研究会研究大会（中部支部研究大会）
 支部提案：香美市立大宮小学校

3 組織拡大の取組

- 校長会や教頭会での呼びかけ
 ○ 研修会の案内を管内のすべての学校に送付

令和3年度 土佐教育研究会 高知市支部 活動計画

1 支部の役員

職名	氏名	学校名	所属名
支部長	宮地 秀徳	長浜小学校	高知市教育研究会 会長
副支部長	弘瀬健一郎	第六小学校	高知市教育研究会 副会長
副支部長	藤原 祐三	一宮小学校	高知市教育研究会 副会長
副支部長	森 一正	五台山小学校	高知市教育研究会 副会長
事務局長	松本 真佳	潮江中学校	高知市教育研究会 事務局長
事務局次長	中山 倫世	教育研究所	高知市教育研究会 事務局次長
研究部長	篠田 直男	神田小学校	土佐教育研究会 研究部副部長
事業部長	田所 潤子	秦小学校	土佐教育研究会 事業部副部長
組織部長	廣瀬 潤	春野西小学校	土佐教育研究会 組織部副部長
広報部長	吉永 佳代	はりまや橋小学校	土佐教育研究会 広報部副部長
会計部長	吉井 容子	一ツ橋小学校	土佐教育研究会 会計部副部長

2 支部の取組

○ 支部の活動計画

(1) 各教科・領域での研究活動の推進

- ・高知市教育研究会等の各研究団体との連携した研究実践・研究大会の開催

(2) 組織拡大の取組

- ・各校，役員を中心に組織拡大の取組

(3) 講演を含む研究活動の推進

- ・各教科研究会の支援

3 土佐教育研究会 高知市支部研究大会

(1) 期 日 : 令和3年 月 (未定)

(2) 主 催 : 土佐教育研究会高知支部

(3) 会 場 : 未定

(4) 日 程 : 13:15～13:15 受付

13:30～13:35 開会行事

13:35～15:05 講演

13:05～15:15 閉会行事

(5) 講 師 : 未定

令和3年度 土佐教育研究会中部支部活動計画

1 支部の組織構成（令和3年度役員名簿）

支部長	今城 純子	南国市立国府小学校
事務局	彼末 健一	南国市立大篠小学校
研究部	川端 純子	南国市立日章小学校
事業部	和田 礼史	南国市立北陵中学校
組織部	松崎加余子	南国市立奈路小学校
広報部	高橋 励	南国市立長岡小学校
会計部	門田 早智	南国市立大篠小学校

2 支部の取組

(1) 50周年記念大会に向けての準備

- ・案内文書作成
- ・講師依頼
- ・運営

(2) 組織拡大の取組

- ・各校、役員を中心に組織拡大の取り組み
- ・補助をする研究大会等で「入会のご案内」の配布

(3) その他

- ・役員会の開催

3 土佐教育研究会中部支部研究大会

- (1) 日時 令和3年12月4日（土） 10:30～16:45
- (2) 日程
- | | |
|-------------|---------------|
| 10:30～11:15 | 授業① |
| 11:30～12:10 | 研究協議（授業①について） |
| 12:10～13:30 | 昼食・休憩 |
| 13:30～14:15 | 授業② |
| 14:30～15:10 | 研究協議（授業②について） |
| 15:20～16:40 | 講話 |
| 16:40～16:45 | 閉会行事 |
- (3) 場所 南国市立大篠小学校 視聴覚室（南舎4階）
- (4) 講師 国土館大学 教授 澤井陽介 先生

4 土佐研中部支部予算計画

〈収入の部〉

項目	金額	
土佐研本部より	50,000	
合計金額	50,000	

〈支出の部〉

項目	金額	
講師謝金（旅費含む）	50,000	・土佐教育研究会中部支部大会（30,000円） ・高知県道徳教育研究会（20,000円）
合計	50,000	

令和3年度 土佐教育研究会高岡支部・活動計画

1. 支部組織構成

(1)高岡支部役員

役職名	氏名	勤務校
支部長	西本 文雄	斗賀野小
事務局	黒瀬 忠行	黒岩小
研究部長	坂本 益英	興津小
事業部長	中越 あかね	米奥小

役職名	氏名	勤務校
組織部長	須内 康雄	大正中
広報部長	児玉 恵美	浦ノ内小
会計	石川 美香	七里小

(2)教科部長

役職名	氏名	勤務校
国語	小濱 みほ	高岡第一小
社会	長岡 誠司	上分中
算数	古谷 仁	上分小
理科	竹内 満	越知小
生活	中越 あかね	米奥小
音楽	石川 雅啓	葉山中
造形	久万 洋資	佐川小
技家	安岡 健二	戸波中

役職名	氏名	勤務校
保体	片岡 一朗	日下小
外国語	矢野 芳恵	浦ノ内中
道徳	石川 美香	七里小
特活	片岡 一朗	日下小
図書	須藤 美香	東又小
視聴覚	西本 文雄	斗賀野小
進路	長岡 誠司	上分中
小規模・複式	黒瀬 忠行	黒岩小
環境	安井 正仁	黒岩小

2. 高岡支部の活動計画について

(1)高岡支部役員会(会長・事務局)

期 日： 令和3年 4月 20日(火)

内 容： 令和3年度 高岡支部活動方針・活動内容の検討

(2)高岡支部総会並びに研修会

期 日： 令和3年 7月 8日(木) 15:45~16:45

会 場： 佐川町文化センター 2F 西講座室

内 容：

①土佐研高岡支部、教科・支部役員の確認

②研修会高岡支部の活動計画について(研究会・学習会等)

■土佐研高岡算数サークル学習会： 毎月1回 土佐市教育研究所にて

■高岡理科部会：子ども理科教室、夏休み標本教室、教材研究 他

■道徳部会・特活部会・技術家庭部会・生活部会・小家部会： 教材研究等

③研修会

■講話：「学校における働き方改革推進について」

講師： 佐川町立斗賀野小学校 西本 文雄 校長

(3)高岡支部研修会並びに総会 【令和4年 2月開催予定】

研修会 講話・講師：「 調整中 」

(4)その他

■組織拡大の取り組み。

■会費を、速やかに納入することを呼びかける。

■新規会員加入を、個々で呼びかけする。

■各部会に、活動資金を配分する。

■令和4年 2月に、年度末の総会・研修会を予定。

令和3年度 西部支部活動計画

1 支部組織構成（令和3年度役員名簿）

役職名	氏名	勤務校（連絡先）	主な職務内容
支部長	坂本恭美子	黒潮町立南郷小学校	支部総括
副支部長	今津 一志	宿毛市立咸陽小学校	支部長の補佐
事務局長	久保田隆一	四万十市立中村小学校	諸事務担当
研究部長	池上 みどり	四万十市立大用小学校	研究の充実、共催活動の促進
事業部長	小野川聡	大月町立大月小学校	人材バンクの構築
組織部長	大橋 更三	宿毛市立大島小学校	加入促進
広報・ 会計部長	清家利華子	宿毛市立平田小学校	広報活動の充実・会計担当

2 支部の活動

（1）西部支部役員会

第1回 令和3年6月12日（土） 組織確認・活動計画

第2回 令和4年1月29日（土） 活動報告・成果と課題、次年度の方向性

（2）支部総会並びに研修会

第3回 令和3年8月17日（火） 支部活動等についてと研修会

（3）組織拡大の取組

- ・令和3年度の支部組織の構成や活動計画について支部で協議し、本年度の取組や役員の決定、任意研究団体の土佐教育研究会との関連性や運営等について確認する。
- ・西部支部には独自の任意研究団体が多くあるので、将来性を考慮し、連携を図りながら研究を推進していく。
- ・土佐教育研究会や西部支部の存在を周知するように、支部総会の開催と重ねて広報活動を行う。

（4）後援を含む研究活動の推進

- ・土佐教育研究会西部支部総会並びに研修会（8月17日）の実施
- ・幡多算数セミナーの共催
- ・幡多道德教育研究大会の後援

令和3年度収支予算

単位:円

科 目	前年度予算額	前年度決算額	本年度予算額	増 減	備 考
会 費	2,000,000	1,776,000	2,000,000	0	2,000円×1,000人
県 補 助 金	1,000,000	1,000,000	1,000,000	0	高知県教育委員会
雑 収 入	50	3	50	0	預金利息
繰 越 金	8,452	8,452	142,027	133,575	
研 究 助 成 金	270,000	270,000	270,000	0	日本教育公務員弘済会高知支部 文教協会
合 計	3,278,502	3,054,455	3,412,077	133,575	

支出の部

単位:円

事業区分	科 目	前年度予算額	前年度決算額	本年度予算額	増 減	備 考
補助対象事業	部 会 配 分 金	1,045,000	1,052,736	900,000	△ 145,000	19部会(50,000円×18)
	中国・四国 全国大会	200,000	50,000	300,000	100,000	6部会(50,000円×6) (国語・書写・社会・音楽・保体・道徳)
	小 計	1,245,000	1,102,736	1,200,000	△ 45,000	
本部・支部	支 部 費	250,000	167,200	200,000	△ 50,000	5支部(40,000円×5支部)
	研究大会補助費	100,000	0	200,000	100,000	第12回研究大会(中部支部) 土佐教育研究会50周年記念講演
	小 計	350,000	167,200	400,000	50,000	
補助対象外事業	謝 金	0	0	0	0	定期大会講師謝金
	旅 費	150,000	95,500	100,000	△ 50,000	定期大会・本部役員会他
	借 損 料	0	0	0	0	定期大会会場費
	消 耗 品 費	1,000	840	1,000	0	定期大会看板
	会 議 費	1,000	500	1,000	0	定期大会・本部役員会他
	通 信 運 搬 費	30,000	34,504	35,000	5,000	切手・宅配便代
	雑 費	100,000	7,040	300,000	200,000	配分金振込手数料・予備費
	小 計	282,000	138,384	437,000	155,000	
	賃 金	1,210,000	1,210,000	1,006,000	△ 204,000	事務手当+通勤手当+事務補助手当
	通 信 運 搬 費	35,000	35,870	100,000	65,000	電話料金・インターネット
消 耗 品 費	15,000	104,742	100,000	85,000	パソコン代・文具類等	
印 刷 製 本 費	10,000	0	10,000	0	印刷代	
退 職 手 当	50,000	50,000	50,000	0	退職手当	
振 込 手 数 料	50,000	60,947	65,000	15,000	会費振込手数料・郵送通知料	
雑 費	31,502	42,549	44,077	12,575	教職員名簿他	
小 計	1,401,502	1,504,108	1,375,077	△ 26,425		
合 計	3,278,502	2,912,428	3,412,077	+133,575		

令和3年度(2021) 役員名簿

役員	氏名	勤務校	役員	氏名	勤務校
会長	藤田 由紀子	浦戸小	組織部長	岡田 定之	初月小
副会長(高知)	宮地 秀徳	長浜小	副部長(高知)	廣瀬 潤	春野西小
〃 (東部)	大井 厚志	舟入小	〃 副部長(東部)	門田 満穂	川北小
〃 (中部)	今城 純子	国府小	〃 副部長(中部)	松崎 加余子	奈路小
〃 (高岡)	西本 文雄	斗賀野小	〃 副部長(高岡)	須内 康雄	大正中
〃 (西部)	坂本 恭美子	南郷小	〃 副部長(西部)	大橋 更三	大島小
事務局長	山下 美奈子	小高坂小	広報部長	中野 博文	介良小
〃 次長(高知)	松本 真佳	潮江中	〃 副部長(高知)	吉永 佳代	はりまや橋小
〃 次長(東部)	幾井 良仁	田野小	〃 副部長(東部)	小松 良浩	室戸小
〃 次長(中部)	彼末 健一	大篠小	〃 副部長(中部)	高橋 励	長岡小
〃 次長(高岡)	黒瀬 忠行	黒岩小	〃 副部長(高岡)	児玉 恵美	浦ノ内小
〃 次長(西部)	久保田 隆一	中村小	〃 副部長(西部)	清家 利華子	平田小
研究部長	藤原 祐三	一宮小	会計部長	西本 壽香	旭東小
〃 副部長(高知)	篠田 直男	神田小	〃 副部長(高知)	吉井 容子	一ツ橋小
〃 副部長(東部)	浜地 洋一	片地小	〃 副部長(東部)	森田 卓志	大宮小
〃 副部長(中部)	川端 純子	日章小	〃 副部長(中部)	門田 早智	大篠小
〃 副部長(高岡)	坂本 益英	興津小	〃 副部長(高岡)	石川 美香	七里小
〃 副部長(西部)	池上 みどり	大用小	〃 副部長(西部)	清家 利華子	平田小
事業部長	中川 弘子	潮江南小	会計監事	松下 整	西部中
〃 副部長(高知)	田所 潤子	秦 小	〃	今西 和子	江陽小
〃 副部長(東部)	井手 泉	羽根小			
〃 副部長(中部)	和田 礼史	北稜中			
〃 副部長(高岡)	中越 あかね	米奥小			
〃 副部長(西部)	小野川 聡	大月小			

令和3年度(2021) 専門部会役員名簿

部 会	部会長	勤務校	事務局長	勤務校
国 語	豊田 益子	三和小	岡林 千裕	附属小
書 写	大谷 俊彦	城東中	須藤 美香	東又小
社 会	伊藤 浩昭	吾北小	田村 隆吏	朝倉第二小
算 数	弘田 博一	高岡第一小	井本 啓介	大津小
理 科	宮地 秀徳	長浜小	前田 悠佑	北稜中
生・総	尾中 映里	波介小	廣瀬 愛	附属小
音 楽	川添 貴生	池川小	石川 雅啓	葉山中
造 形	小杉 龍司	赤岡小	松田 陽一	附属小
小 家	岩本 初美	加茂小	濱岡 かおり	大條小
技 家	山田 洋士	朝倉中	馬詰 敦	城東中
保 体	田所 潤子	秦 小	内田 裕文	野市小
外 国	山中 由香	鴨田小	福留 雅子	山田小
道 徳	島内 祥夫	岡豊小	和田 礼史	北陵中
特 活	中野 博文	介良小	小松 朋子	春野東小
図 書	岡林 宏枝	大津小	岡本 へりか	城東中
視 覚	浜地 洋一	片地小	梶原 和美	佐古小
進 路	長岡 誠司	上分小・中	今西 一成	附属中
小・複	黒瀬 忠行	黒岩小	黒瀬 忠行	黒岩小
環 境	友村 憲朗	高知小	西村 一輝	横浜新町小

土佐教育研究会会則

第 1 章 総 則

第 1 条 (名称) 本会は土佐教育研究会と称する。

第 2 条 (目的) 本会は職能団体であって、教育に関する研究を行い、本県教育の振興に寄与することを目的とする。

第 3 条 (基本方針)

1. 日本国憲法と教育基本法の精神に立脚し、民間研究団体として、研究の自由を堅持し、その課題と使命にこたえる。
2. 子どもたちの真の幸福と成長を希求し、主体的・創造的な教育を目指した研究をすすめる。
3. 全県的に全分野の専門部会にわたる組織を拡充して自主的、民主的な活動運営をはかる。
4. 本県の実態の把握に立った実践計画をたて、研究の全域化を行うとともに全国組織との連携を深める。

第 4 条 (事務所) 本会の事務所を会長の指定する場所に置く。

第 5 条 (事業) 本会は第 2 条の目的を達成するために次の事業を行う。

1. 研究会、講演の開催
2. 研究、調査、成果及び会報の発行
3. 会員の福利厚生並びに相互の親和
4. 教育関係機関、団体との連携
5. その他本会の目的達成に必要な事業

第 6 条 (資格)

本会は義務教育諸学校に勤務する教職員および保育園、幼稚園関係、その他本会の趣旨に賛同する者をもって組織する。

第 7 条 (支部、専門部会)

本会は第 5 条の事業を円滑にするため、支部、専門部会を置く。

1. 支部は、東部、中部、高知、高岡、西部の 5 支部とする。
2. 専門部会は、国語、書写、社会、算数・数学、理科、生活科・総合的な学習、音楽、造形、小学家庭、技術・家庭、保健体育、外国語・外国語活動、道徳、特別活動、学校図書館、視聴覚、進路指導、小規模・複式、環境教育の 19 部会とする。

第 2 章 機 関

第 8 条 (決議機関) 本会の決議機関は大会とする。

第 9 条 (大会)

大会は最高決議機関であって毎年 1 回 6 月に開くことを原則とし、臨時大会は代表委員の 3 分の 1 以上の要求があった場合及び本部役員が必要と認めた場合、会長がこれを招集する。

第 10 条 (大会構成)

大会は本部役員（支部長を含む）および各専門部会の代表委員（部会長，副部会長，事務局長の 3 名）をもって構成する。

第 11 条 (大会権限) 大会は次の事を決議する。

1. 会則の承認又は変更に関すること
2. 予算の議決，決算の承認
3. 事業方針ならびに事業計画の決定
4. 本部役員を選出
5. その他必要なこと

第 12 条 (会議) 会議は構成員の過半数（委任状を含む）で成立し，多数決とする。

第 13 条 (役員会) 本会に次の役員を置く。

- ①会 長 1 名 ②副会長 若干名 ③事務局長 1 名 ④会計部長 1 名
⑤研究部長 1 名 ⑥事業部長 1 名 ⑦組織部長 1 名 ⑧広報部長 1 名
⑨会計監事 2 名

第 14 条 (役員の仕事) 役員の仕事は次のとおりとする。

1. 会長は本会を代表し，会務を総理する。
2. 副会長は会長を補佐し，会長に事故あるときは，その職務を代行する。
3. 事務局長は会長の下にあつて事務ならびに事業を統轄する。
4. 研究部長は、研究会の企画ならびに各支部の連絡調整にあたる。
5. 事業部長は、研修事業の企画ならびに各部の連絡調整にあたる。
6. 組織部長は、組織の拡充強化をはかる。
7. 広報部長は、広報活動にあたる。
8. 会計部長は本会の会計を司る。
9. 会計監事は本会の会計監査にあたる。

第 15 条 (事務局) 本会に事務局を置く。細則は別に定める。

第 16 条 (役員選出)

第17条 (任期) 役員の任期は1ヵ年とし、再任を妨げない。

第18条 (次長また副部長)

事務局及び各部(本部役員)には、次長または副部長を置くことができる。

1. 次長または副部長は会長が委嘱する。
2. 次長または副部長は所属長を補佐し、担当部局の任務を遂行する。

第19条 (支部) 各支部に支部長を置く。

1. 支部長は各支部において選出し、支部運営をはかる。
2. 支部運営の細則は支部ごとに定める。
3. 支部運営は各専門部と連携をとる。

第20条 (専門部会) 各専門部会に部会長を置く。

1. 専門部会長は各専門部会において選出し、その運営を司る。
2. 各専門部会の細則は専門部ごとに定める。
3. 各専門部会の運営は各支部と連携をとる。

第 3 章 会 計

第21条 (会費)

本会の経費は、会費、補助金、寄付金、その他の収入をあてる。

会費は年額2,000円とする。

第22条 (会計年度) 会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

附 則

昭和56年5月29日 一部改正
平成4年6月29日 一部改正
平成5年6月21日 一部改正
平成13年6月25日 一部改正
平成22年6月20日 一部改正
令和元年6月8日 一部改正

昭和47年～昭和49年 会費 1,000円
昭和50年～昭和55年 会費 1,200円
昭和56年～昭和61年 会費 1,500円
昭和62年～平成12年 会費 1,800円
平成13年～ 会費 2,000円

	= = = = =	
	年間会費	
	2,000円	
	= = = = =	